

## 平成30年度「全国学力・学習状況調査」の結果について

平成30年7月24日に文部科学省から提供された全国学力・学習状況調査結果について、上野原市の分析結果がまとまりましたのでお知らせします。

本調査は、本年4月17日に全国的な児童生徒の学力や学習状況を把握・分析し、教育施策の成果と課題を検証し、その改善を図ることなどを目的として、小学校第6学年及び中学校第3学年を対象に実施されました。

内容は、教科に関する調査（国語、算数・数学、理科）と生活習慣や学習環境等に関する調査が行われ、市内5校の小学校第6学年の児童148名の内142名、3校の中学校第3学年の生徒170名の内165名が参加しました。

この調査により測定できるのは学力の特定の一部であり、学校における教育活動の一側面ではありますが、教育委員会としましては、今後、この分析結果を生かしながら、児童生徒の学力や生活習慣の向上を図り、教育委員会教育方針であります「確かな学力と豊かな心の育成を目指した教育の充実」の実現に向けて、なお一層の教育活動を推進していきたいと考えています。

子どもたちの健やかな成長のためには、家庭、地域の協力が欠かせませんので、引き続きご支援、ご協力をよろしくお願いいたします。

なお、各学校における教科に関する考察と今後の対策等については、個人面談や学校だよりなどにおいて保護者の皆様にお知らせする予定です。

上野原市教育委員会

### ○教科に関する調査の状況について

問題種別	国語		算数・数学	
	A（知識）	B（活用）	A（知識）	B（活用）
小学校6年生	国とほぼ同等	国とほぼ同等	国とほぼ同等	国とほぼ同等
中学校3年生	国とほぼ同等	国とほぼ同等	国とほぼ同等	国とほぼ同等
	理科			
小学校6年生	国とほぼ同等			
中学校3年生	国とほぼ同等			

\*A（知識）：身に付けておかなければ後の学年の学習内容などに影響を及ぼす内容

\*B（活用）：知識・技能を実生活の様々な場面に活用する力などに関わる内容

\*教科に関する考察と今後の対策については、2ページ、3ページをご覧ください。

### ○生活習慣や学習環境に関する調査の状況について

\*4ページ、5ページをご覧ください。





平成30年度 上野原市全国学力・学習状況調査 教科に関する考察と今後の対策

小学校(国語)

国語 A		国語 B		今後の対策
できている点	課題となる点	できている点	課題となる点	
<ul style="list-style-type: none"> <li>・相手や目的に応じ、自分が伝えたいことについて、事例などを挙げながら筋道を立てて話すこと。</li> <li>・日常生活で使われている慣用語の意味を理解し、使うこと。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・自分の創造したことを物語に表現するために、文章全体の構成の効果を考えること。</li> <li>・文の中における主語と述語との関係などに注意して、文を正しく書くことができること。</li> <li>・相手や場面に応じて適切に敬語を使うこと。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・話し合いの参加者として、質問の意図を捉えること。</li> <li>・計画的に話し合うために、司会の役割について捉えること。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・話し手の意図を捉えながら聞き、自分の意見と比べるなどして考えをまとめること。</li> <li>・目的や意図に応じ、内容の中心を明確にして、詳しく書くこと。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・学習活動の中に意図的に対話や話し合いの場面を仕組み、相互の関わりの中から自分の考えをまとめる経験をさせる。</li> <li>・目的や意図に応じ、情報を選択し、関連づけて捉え、分かりやすく書くことを意識させる。</li> <li>・全教育活動を通して、主語と述語を意識して、文を書いたり話したりするよう指導していく。</li> <li>・相手や場面に応じて適切に敬語を使うよう、具体的な場面と関連させて指導していく。</li> </ul>

小学校(算数)

算数 A		算数 B		今後の対策
できている点	課題となる点	できている点	課題となる点	
<ul style="list-style-type: none"> <li>・<math>180^\circ</math>の角の大きさを理解していること。</li> <li>・異種の二つの量のうち、一方の量がそろっているときの混み具合の比べ方を理解していること。</li> <li>・示された表現方法をもとに、空間の中にあるものの位置を表現することができること。</li> <li>・1に当たる大きさを求める問題場面における数量の関係を理解し、数直線上に表すことができること。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・円周率の意味について理解していること。</li> <li>・小数の除法の意味について理解していること。</li> <li>・単位当たりの大きさを求める除法の式と商の意味を理解していること。</li> <li>・除法で表すことができる二つの数量の関係を理解していること。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・合同な正三角形で敷き詰められた模様の中に、条件に合う図形を見出すことができること。</li> <li>・示された考えを解釈し、条件を変更して数量の関係を考察し、分配法則の式に表現することができること。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・メモの情報とグラフを関連づけ、総数や変化に着目していることを解釈し、それを記述できること。</li> <li>・棒グラフと帯グラフから読み取ることができることを適切に判断することができること。</li> <li>・折り紙の枚数が100枚あれば足りる理由を、示された数量を関連づけ根拠を明確にして記述できること。</li> <li>・図形の構成要素や性質をもとに、集まった角の大きさの和が<math>360^\circ</math>になっていることを記述できること。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・問題の把握、情報や資料の収集・関連づけ、適切な判断、図表の読解・活用、趣旨に応じた表現など、主体的に体験的に学べるよう指導法を工夫する。</li> <li>・言語活動を活かし、さまざまな考えに触れ、相互に関わる中で理解を深め、主体的に活動する態度を養う。</li> <li>・個々の課題を見極め、個に応じた指導を心がける。これまで通り朝の学習活動を継続して行うとともに、家庭学習の充実により一層の定着を図る。</li> <li>・デジタル教材やICT機器の充実・活用を更に進める中で、基礎基本の定着を図るとともに多様な考えを引き出し、学びを深めるよう指導法を工夫する。</li> </ul>

小学校(理科)

理科		今後の対策
できている点	課題となる点	
<ul style="list-style-type: none"> <li>・より妥当な考えを作り出すために、2つの異なる方法の実験結果を分析して考察できること。</li> <li>・堆積作用について、科学的な言葉や概念を理解していること。</li> <li>・調べた結果について考察する際に、問題に対応した視点で分析できること。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・より妥当な考えを作り出すために、実験結果を基に分析して考察し、その内容を記述できること。</li> <li>・太陽の1日の位置の変化と光電池に生じる電流の変化の関係を目的に合った物づくりに適用できること。</li> <li>・物を水に溶かしても全体の重さは変わらないことを、食塩を溶かして体積が増えた食塩水に適用できること。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・対話や話し合いの中で、自分の考えを伝えたり、振り返ったり、見直したりする経験を通して学びを深め、主体的に活動する態度を養う。</li> <li>・自他の予想とそれぞれの結果の見通しを共有し、得られた結果と照らし合わせることで、多様な考えを振り返る中からより妥当な考えを作り出す経験を積ませる。</li> <li>・考えを記述する際には、得られた結果を基に分析・考察し、事実と解釈の両方を示しながら記述できるよう指導する。</li> <li>・体験と関係づけて考えたり図や模型を用いて説明したりするなど、獲得した知識を自然現象や日常生活に適用できるよう指導法を工夫する。</li> </ul>



平成30年度 上野原市全国学力・学習状況調査 教科に関する考察と今後の対策

中学校(国語)

国語 A		国語 B		今後の対策
できている点	課題となる点	できている点	課題となる点	
<ul style="list-style-type: none"> <li>・伝えたい事実や事柄が相手に分かりやすく伝わるように書くこと。</li> <li>・段落相互の関係に注意し、読みやすく分かりやすい文章にすること。</li> <li>・行書の基礎的な書き方を理解すること。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・話し合いの話題や方向を捉えて的確に話すこと。</li> <li>・文脈に即して漢字を正しく書くこと。</li> <li>・歴史的仮名遣いを現代仮名遣いに直して読むこと。</li> <li>・古典に表れたものの見方や考え方を理解すること。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・質問の意図を捉えること。</li> <li>・相手に的確に伝わるように、あらすじを捉えて書くこと。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・文章とグラフの関係を考えながら内容を捉えること。</li> <li>・場面の展開や登場人物の描写に注意して読み、内容を理解すること。</li> <li>・登場人物の言動の意味などを考え、内容の理解に役立てること。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・少人数の言語活動を積極的に取り入れ、話題について考え、話す機会を多く持たせる。</li> <li>・語彙の指導については、短文づくりなどを取り入れ、自分の言葉として使えるもののできるよう指導する。</li> <li>・古典等、文学作品にふれる機会を増やし、登場人物や作者の思いなどを想像する言語活動を積極的に取り入れる。</li> <li>・文章を目的や意図に応じて読み、図表やグラフから取り出した情報について自分の考えをもつ活動を多くする。</li> </ul>

中学校(数学)

数学 A		数学 B		今後の対策
できている点	課題となる点	できている点	課題となる点	
<ul style="list-style-type: none"> <li>・単項式どうしの計算をすること。</li> <li>・回転移動した図形をかくこと。</li> <li>・長方形やひし形が平行四辺形の特別な形であることを理解すること。</li> <li>・座標平面上に点の位置を示すこと。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・絶対値の意味を理解すること。</li> <li>・数量の大小関係を不等式に表すこと。</li> <li>・具体的な場面で関係を表す式を、等式の性質を用いて、目的に応じて変形すること。</li> <li>・見取り図、投影図から空間図形を読み取ること。</li> <li>・連立二元1次方程式の解を座標とする点は、座標平面上の2直線の交点であることを理解すること。</li> <li>・多数回の試行の結果から得られる確率の意味を理解すること。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・与えられた情報を分類整理し、不確定な事象の起こりやすさの傾向を捉えること。</li> <li>・事柄が成り立つ理由を、構想を立てて説明すること。</li> <li>・3つの計算の順番を入れかえたときの計算結果を数学的に表現すること。</li> <li>・事象を数学的に解釈し、問題解決の方法を数学的に説明すること。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・不確定な事象の起こりやすさの傾向を捉え、判断の理由を説明すること。</li> <li>・発展的に考え、条件を変えた場合について、証明の一部を書き直すこと。</li> <li>・計算を解釈し、数学的な表現を用いて説明すること。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・具体物や身近な現象を取り上げ、実際に手にとって観察したり、関係を数学的に考察したりすることで数学の活用力を育成していく。</li> <li>・事柄が成り立つ理由の説明及び、筋道を立てた証明など説明・証明する力の育成には、様々な場面で話し合い活動を取り入れていく。また、そのためのペア学習や小グループ活動など授業形態の創意工夫を図る。</li> <li>・振り返りの場面において本時の学習プロセスを明確化することで、本時の習得内容の定着を図り、家庭学習との結びつきを強化する中で数学的な語彙力と基礎力の向上を図る。</li> </ul>

中学校(理科)

理 科		今後の対策
できている点	課題となる点	
<ul style="list-style-type: none"> <li>・炎の色と金網に付くススの量を調べる実験を計画する際に、「変えない条件」を指摘できること。</li> <li>・オームの法則を使って、抵抗の値を求められることができること。</li> <li>・アルミニウムの原子の記号の表し方についての知識を身につけていること。</li> <li>・探求の過程を振り返り、新たな疑問を持ち問題を見だし探求を深めようとしている。アルミニウムは水の温度変化に関係していることについての新たな問題を見いだすことができること。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・無脊椎動物と軟体動物の体のつくりの特徴に関する知識を活用できること。</li> <li>・神経系の働きについて知識を身につけていること。</li> <li>・地震の揺れの強さが、震度であること、S波による揺れが主要動であることの知識を身につけていること。</li> <li>・植物を入れた容器の中の湿度が高くなる蒸散以外の原因を指摘できること。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・日常生活の体験が乏しかったり、実際に見たことのない課題において、知識理解の定着が難しかったりしたので、実物や映像などを活用した指導を行う。</li> <li>・技能、技術の指導においては、出来る限り個別化を図る。また、単元内の指導に限らず、習得に向けた指導を必要に応じて組み込む。</li> <li>・生活への関連づけ、科学技術への応用例を示し、学習内容の活用について目を向けさせる機会を多く設定する。</li> <li>・科学的な思考力を育てるという視点で指導を行う。</li> </ul>



# 生活習慣や学習環境に関する調査の状況

表の数値は、選択肢のうち「そう思う」「どちらかといえばそう思う」を肯定的な回答として割合を示しました。

\* 次の調査結果は、重要で関心が高いと思われるものと課題となるものを抜粋しています。

## 1 生活習慣等について

〔単位：％〕

朝食を毎日食べていますか			
	市	全国	差
小	95.1	94.5	0.6
中	90.9	91.9	-1.0

毎日、同じくらいの時刻に寝ていますか			
	市	全国	差
小	87.4	77.0	10.4
中	75.2	74.2	1.0

毎日、同じくらいの時刻に起きていますか			
	市	全国	差
小	92.2	88.8	3.4
中	89.7	90.3	-0.6

自分には、よいところがあると思いますか			
	市	全国	差
小	85.9	84.0	1.9
中	84.3	78.8	5.5

将来の夢や目標を持っていますか			
	市	全国	差
小	91.6	85.1	6.5
中	80.0	72.4	7.6

放課後に何をして過ごすことが多いですか (家でテレビやビデオ・DVDを見たり、ゲームをしたり、インターネットをしたりしている)			
	市	全国	差
小	90.1	81.0	9.1
中	83.0	77.3	5.7

テレビのニュース番組やインターネットのニュースを見ますか (携帯やスマホを使ってインターネットのニュースを見る場合も含む)			
	市	全国	差
小	88.8	86.2	2.6
中	89.1	86.6	2.5

地域の大人に勉強やスポーツを教えてもらったり、一緒に遊んだりすることがありますか			
	市	全国	差
小	49.3	41.6	7.7
中	26.0	25.5	0.5

今住んでいる地域の行事に参加していますか			
	市	全国	差
小	71.9	62.7	9.2
中	71.5	45.6	25.9

- ・「自分にはよいところがある」と答えた割合が、昨年度を上回っています。自己肯定感の低下が心配される中でよい傾向にあります。
- ・「将来の夢や希望を持っている」と答えた割合が、昨年度は全国平均を下回っていましたが、本年度は小学生、中学生ともに上回り、特に中学生の割合が増えています。
- ・放課後の過ごし方では、複数回答で「テレビを見たり、ゲームやインターネットをしたりする」が多く、小学生では1位、中学生では「部活」に次いで2位となっています。週末の過ごし方では、小学生、中学生ともに「テレビを見たり、ゲームやインターネットをしたりする」が1位となっています。長い時間テレビを見たり、ゲームしたりすることによる学習や睡眠への影響が心配されます。
- ・新聞を読んでいるかという質問に、「毎日読んでいる・週1～3回読んでいる」と答えた割合が、小学生、中学生ともに約20%であるのに対して、テレビのニュース番組やインターネットのニュースを見るかという質問に、小学生、中学生ともに約90%が「よく見る・時々見る」と答えています。スマートフォンなどの普及が大きく影響していると考えられます。
- ・地域の行事に参加すると答えた割合が増加しました。特に中学生では全国平均を大きく上回っています。また、地域の大人に勉強やスポーツを教えてもらったり、一緒に遊んだりすることがあるかという質問に、「ある」と答えた割合は全国平均を上回っていますが、小学生の約20%、中学生の約50%が「全くない」と答えています。今後とも、地域での温かい支援をお願いします。



## 2 学習環境等について

〔単位：％〕

学校の授業時間以外に、普段、1日当たりどれくらいの時間、勉強をしますか（1時間以上）			
	市	全国	差
小	73.2	66.2	7.0
中	63.6	70.6	-7.0

家で、学校の授業の予習・復習をしていますか			
	市	全国	差
小	73.9	62.6	11.3
中	56.4	55.2	1.2

家で、学校の宿題をしていますか			
	市	全国	差
小	97.8	97.1	0.7
中	92.7	91.6	1.1

学校の授業時間以外に、普段、1日当たりどれくらいの時間、読書をしますか（30分以上）			
	市	全国	差
小	55.7	41.1	14.6
中	43.0	30.9	12.1

先生は、あなたのよいところを認めてくれていると思いますか			
	市	全国	差
小	85.9	85.3	0.6
中	89.7	82.2	7.5

学校のきまり(規則)を守っていますか			
	市	全国	差
小	91.6	89.5	2.1
中	97.0	95.1	1.9

いじめは、どんな理由があってもいけないことだと思いますか			
	市	全国	差
小	97.2	96.8	0.4
中	92.1	95.5	-3.4

学級の友達との間で話し合う活動を通じて、自分の考えを深めたり、広げたりすることができていると思いますか			
	市	全国	差
小	85.2	77.7	7.5
中	83.1	76.3	6.8

算数や数学の勉強は大切だと思いますか			
	市	全国	差
小	93.7	92.1	1.6
中	84.9	83.6	1.3

算数や数学の問題の解き方が分からないときは、諦めずにいろいろな方法を考えますか			
	市	全国	差
小	81.0	78.4	2.6
中	78.8	70.3	8.5

理科の勉強は大切だと思いますか			
	市	全国	差
小	90.1	85.4	4.7
中	72.7	70.6	2.1

自然の中で遊んだことや自然観察をしたことがありますか			
	市	全国	差
小	93.6	87.0	6.6
中	83.0	77.6	5.4

- ・家庭(塾等を含める)で1時間以上勉強する割合は、小学生では全国平均を上回っています。中学生では全国平均を下回っていますが、2時間以上勉強する割合は約40%で、全国平均をやや上回っています。
- ・1日30分以上読書をする割合は、昨年度に比べ増加し、全国平均を大きく上回っています。
- ・「先生が自分のよいところを認めてくれている」と答えている小中学生が多く、先生とのよい関係がつけられています。
- ・「いじめは、どんな理由があってもいけない」と答えている割合が、昨年度よりも増加しています。また、「学級の友達との間で話し合う活動を通じて、自分の考えを深めたり、広げたりすることができている」と答えている小中学生が多く、よい学習や生活の環境がつけられています。
- ・算数、数学や理科の勉強が大切だと思う小中学生が多くいます。算数や数学では、問題の解き方が分からないときは、諦めずにいろいろな方法を考えるという割合が全国平均を上回っています。また、自然の中で遊んだことや自然観察をしたことがあると答えた小中学生が多く、理科教育の充実に加え、本市が推進している「豊かな自然とのふれあい活動」の成果と考えます。

